

※ 本実践は、当初葛西教諭が令和2年度の発表を予定し、5年生の児童を対象として令和元年度に計画・実践したが、コロナウィルスの流行で実践が中断、令和2年度に再開した実践である。葛西教諭は、令和3年4月に死去したが、途中まで書かれた研究発表要項が残されていた。それを、鈴木が加筆し、まとめたものである。

1 研究主題

児童が税に関する興味・関心を高めるための指導の工夫
～児童自らが課題を設定し、調べる活動を通して～

2 主題設定の理由

納税は、日本国民の三大義務の一つであり、社会が成り立つために必要不可欠なものである。税金は、国や地方公共団体が公的サービスを行うのに必要な費用をまかなうために使われ、児童にとっても学校生活や日常生活における様々な場面で関わっている。

しかし、5年生の児童にとって「税金」に対する知識は大変乏しく、無償で配布されている教科書や、学校等の公共・共同の設備に税金が使われていることを児童はよく理解していない。

児童にとって一番身近な税金といえば「消費税」である。当時、消費税が8%から10%引き上げられ、軽減税率など、ニュース等で多く取り上げられていたもので、「消費税」という言葉を知っている程度であると思われる。

そこで、児童が自ら課題を設定し調べることで、税金に対する興味・関心を高め、さらに、税金の意義や役割について正しい知識を身に付けることで、税金の必要性や重要性に気付かせることができるのではないかと考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税金に対する興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を理解するための指導のあり方を探る。

4 研究の方法

- (1) 税金に対する意識調査を行い、児童の実態を把握する。
- (2) 租税教室を通し、税金に対する興味・関心を高めるとともに基本的な知識を身に付ける。
- (3) 租税教室で学んだことを生かして、児童に課題設定をさせる。
- (4) 課題ごとにグループを編成し、インターネット等を活用して調べる。
- (5) 新聞にまとめ、読み合うことで知識を広げる。
- (6) 事後調査を行い、変容を考察する。

5 研究の経過

年	時 期	研 究 内 容
令和元年	1 1 月	事前意識調査
	1 2 月	租税教室（巨理町税務課）1 クラスで実施
		（中断・再開）
令和2年	6 月	社会科「震災復興の願いを実現する政治」で、税金についても取り上げる
	9 月	「税に関する絵はがきコンクール」に全児童が応募
	1 2 月	租税教室（巨理町税務課）3 クラスで実施
	1 2 月	課題設定 グループ編成
令和3年	1 月	調べ学習
	2 月	新聞にまとめ、読み合う
	3 月	事後意識調査

6 学習内容

段 階	主な学習内容	時間
実態意識調査	・税に対する意識実態調査を行う。	
税金について知ろう。 （元年度1クラスで実施）	・租税教室に参加し、税金についての基本的な知識、意義や役割について理解する。	1
税金について知ろう。	・税の種類や働きについて理解する。	1
税に関する絵はがきをつくろう	・「税に関する絵はがきコンクール」応募作品をつくる。	1
税金について知ろう （2年度3クラスで実施）	・租税教室に参加し、税金についての基本的な知識、意義や役割について理解する。	1
学習の見通しを立てよう	・税金について疑問に思ったことや、さらに詳しく調べてみたい事柄について出し合い、課題を設定する。 ・設定した課題に対してグループを編成し、調べ方やまとめ方について見通しをもつ。	2
税金について調べよう	・本やパンフレット、インターネットを活用し、課題について調べる。	3
税金についてまとめよう	・調べたことを新聞にまとめる。	3
新聞を読み合おう	・新聞を読み合い、内容を友達同士で共有する。	1
学習を振り返ろう	・学習の振り返りを行う。（事後意識調査）	

7 研究の概要

(1) 児童の実態（事前意識調査）

<税に関するアンケート> 5年1組 27名

○「税金」という言葉を知っていますか？

・知っている (15名)

- ・知っているけどよく分からない（１２名）
- ・知らない（０名）

○税金にはどんなものがあるか知っていますか？（複数回答可）

- ・消費税（１４名）
- ・たばこ税（３名）
- ・酒税（３名）
- ・無答（１３名）

○税金はどんなことに使われているか知っていますか？（複数回答可）

- ・学校（１３名）
- ・道路（４名）
- ・公園（３名）
- ・先生（公務員）の給料（３名）
- ・病院（１名）
- ・消防署（１名）
- ・無答（１３名）

５年生の児童は、全員が「税金」という言葉は知っている。そして、買い物で税金を払っていることも知っている。但し、その名称を「消費税」ということまでは、知らない児童も少なくなかった。税の種類は、消費税など身近なものにかかる税金しか分からない。また、税金の使われ方も、よく分かっておらず、自分たちの払う税金が自分たちの生活に役立てられていることを理解させたい。

(2) 実践の概要

<税金について知ろう>

☆令和２年度租税教室（１クラスだけ受講）

- ・税金とは何か
DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
を視聴
- ・税金でできているもの
- ・教育費と税
- ・１億円の重さ「実際に持ってみよう」

- ・税の種類
- ・教科書も税金で

☆令和３年度租税教室（３クラスすべてが受講）

- ・世界の税金「ソーダ税，ポテトチップス税，渋滞税」
- ・税の種類
- ・税金の使われ方
- ・教育費と税



- ・ 1億円の重さ「実際に持ってみよう」
- ・ 税金とは何か
DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
を視聴
- ・ もし税金がなかったら
- ・ 税金の使い道の決め方
- ・ 納税は国民の義務
- ・ オリンピックと税金（報奨金は無税）
- ・ 宝くじと税金（宝くじも無税）
- ・ ノーベル賞と税金（賞金も無税）
- ・ 税の歴史



亘理町税務課の方に来ていただき、5年時と6年時に税金について上記のように様々な観点から詳しく教えていただいた。DVDを見たり、クイズに答えたり、1億円のレプリカを持ったり、児童は興味を持続させながら受講することができた。また、税金がなかったらどうなるのかを知ることによって、税金の重要性の理解を深めた。

<税に関する絵はがきをつくろう>

※令和2年度6年児童の作品がなかったため、令和3年度6年児童の作品を掲載



<学習の見通しを立てよう>

児童は、右記新聞のように「世界の税金」や「税の集め方」など、これまでの学習を通して興味をもった課題を立てた。そして、同じ課題や似たような課題の児童をグルーピングした。

<税金について調べよう>

本やパンフレットを活用する児童は少なく、ほとんどの児童が配付されたタブレットを使い、友達と情報交換しながらインターネットで調べていた。

<税金についてまとめよう>

右記のように、新聞にまとめた。内容として多かったのが、「税の種類」「外国との消費税率の比較」「税の使われ方」「税の歴史」であった。

<新聞を読み合おう>

でき上がった新聞を読み合った。興味をもったことを調べ、まとめているため、「税の種類」「外国との消費税率の比較」などに終始し、「税の使われ方」に全く触れていない新聞もあった。そうすると、税の重要性に関する記述が見られない。しかし、お互いの新聞を読み合うことで、税の重要性に関する記述を目にすることが多くなり、内容を共有することができたと思われる。

世の中の税金

世界の税金を比べてみる

右のグラフは日本と海外の四つの国々の消費税率を示している。読み取れるように、デนมールが25%で最も高い。このことから、デนมールは税金が高いことが考えられる。一方で消費税は低い。

国	消費税率
日本	10%
アメリカ	15%
英国	20%
ドイツ	25%

消費税の税率の高さは、国の収入の増減に大きく関係している。そのため、消費税の税率を上げることは、国の収入を増やす効果がある。一方で、税率を上げることは、消費者の負担を増やすことにもなる。税率のバランスを、人々の意見を取り入れた社会を作り上げるのは大きな課題である。

税金の使い道

世界中で使われている税金は、国や地方自治体の運営に必要不可欠なものである。税金は、道路の整備や教育、医療、社会保障などに使われる。税金は、私たちの生活を支えている。税金は、国や地方自治体の運営に必要不可欠なものである。税金は、道路の整備や教育、医療、社会保障などに使われる。税金は、私たちの生活を支えている。

関税について

世界の国々は貿易を営んでおり、経済力を競い合っている。世の中には、関税という税金がある。関税とは、国境を越える際に課税される税金である。関税は、国の間の貿易のバランスを保つ役割がある。関税は、国境を越える際に課税される税金である。関税は、国の間の貿易のバランスを保つ役割がある。

タックスフリー

空港でよく見かけるタックスフリーは、免税店のことである。これは、税を納めないで商品を買える場所である。これは、国境を越える際に課税される税金である。関税は、国境を越える際に課税される税金である。関税は、国の間の貿易のバランスを保つ役割がある。

税の学習新聞

2月26日

税はどうやって集めているか知ろう!

少子高齢化が進む日本は、高齢者の割合が増え、年金や医療費の負担が増える。高齢者の割合が増えるにつれて、年金や医療費の負担が増える。高齢者の割合が増えるにつれて、年金や医療費の負担が増える。高齢者の割合が増えるにつれて、年金や医療費の負担が増える。

税金は、国や地方自治体の運営に必要不可欠なものである。税金は、道路の整備や教育、医療、社会保障などに使われる。税金は、私たちの生活を支えている。税金は、国や地方自治体の運営に必要不可欠なものである。税金は、道路の整備や教育、医療、社会保障などに使われる。税金は、私たちの生活を支えている。

税の学習新聞

税の学習新聞は、税の種類や税率、税金の使われ方などについてまとめた新聞である。税の学習新聞は、税の種類や税率、税金の使われ方などについてまとめた新聞である。税の学習新聞は、税の種類や税率、税金の使われ方などについてまとめた新聞である。税の学習新聞は、税の種類や税率、税金の使われ方などについてまとめた新聞である。

<学習を振り返ろう（事後意識調査）>

<税に関するアンケート> 6年3組 26名

○「税金」は大切だと思いますか？

- ・思う (25名)
- ・思わない (1名)

○税金にはどんなものがあるか分かりましたか？（複数回答可）

- ・消費税 (20名)
- ・たばこ税 (8名)
- ・酒税 (5名)
- ・法人税 (5名)
- ・所得税 (10名)
- ・自動車重量税 (5名)
- ・固定資産税 (4名)
- ・住民税 (1名)
- ・関税 (1名)
- ・外国にある税金 (13名)
- ・無答 (0名)

○税金はどんなことに使われているか分かりましたか？（複数回答可）

- ・学校（校舎，机やいす） (15名)
- ・教科書 (5名)
- ・道路（信号機） (8名)
- ・公園 (4名)
- ・先生（公務員）の給料 (4名)
- ・病院 (1名)
- ・消防署 (5名)
- ・警察 (3名)
- ・オリンピック (1名)
- ・年金 (6名)
- ・医療費 (8名)
- ・自衛隊 (1名)
- ・介護 (2名)
- ・役場 (1名)
- ・無答 (1名)

社会科での学習や租税教室，調べ学習や新聞を読み合う学習を通して，税金の重要性はほとんどの児童が理解している。そして，税金の種類や使われ方も知識が広げることができたことが分かる。税金の種類に関しては，ポテトチップス税やソーダ税など，外国の珍しい税金が印象に残る児童が多かった。税金の使われ方に関しては，医療費や年金が印象に残る児童が多

かった。現在小学生の医療費は無料になっている自治体がほとんどだと思うが、それが税金であることに気付いたり、お年寄りに年金が支払われているを知ったりした児童が多かったのではないかとと思われる。

8 成果と課題

(1) 成果

- 租税教室は、外国の珍しい税金を紹介していただくなど、児童の興味を高める内容が多く、またDVDを見ることで税の必要性や重要性に気付くので、とても有意義であった。
- 税について自ら課題をもち、調べ学習を行うことで、興味関心を高めることができた。
- タブレットで調べ学習を行うことで、スクリーンショット機能が使え、必要なところはメモすることがなくなり、調べ学習時間の短縮につながった。
- 互いにつくった新聞を読み合うことで、さらに税に関する知識を広げることができた。また、多くの児童が税の重要性に気付いていることから、税の重要性を再認識できたものと考えられる。

(2) 課題

- 時数確保の難しさがある。総合的な学習の時間の内容は、コロナ禍で実施できないものがあることから、可能だったかのかかもしれないが、10時間ほどをどう確保するか、今後検討すべきである。